

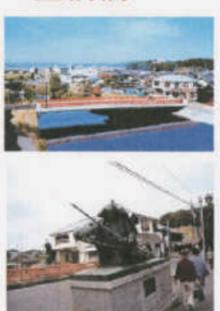
くらしき まち歩き さと歩き マップ



倉敷市 倉敷地区 天城学区

作成：天城学区愛育委員会
協力：天城学区婦人部
発行：倉敷市(令和元年6月改訂)

早朝・薄暮・夜間は反射材やたすきを身につけよう！



① 藤戸寺

奈良時代に行基菩薩が開基。真言宗高野山派。平家滅亡後、佐々木盛綱は両軍戦没者の供養に大法会を催し、建物の修復もした。境内の石造五重塔は鎌倉中期の寛元元年(1243年)銘、県指定重要文化財である。

② 素戔鳴神社

藤戸一円を氏子とする。素戔鳴命・倉稻魂命・大名持命を祀っている。

③ 旧下津井電鉄 藤戸駅

昭和47年3月31日まで駅として使用していた。現在でもホームと駅名の看板が残っている。

④ 経寺古墳

円墳であったらしいが、現在ではそのほとんどが削り取られていて、その基底らしい跡が残っているのみである。

⑥ 広田神社

天城一円を氏子とする。天照大神荒魂を祀っている。

⑦ 天城池田公墓所

天城のお櫻山という小高い丘に、天城池田家の墓が並ぶ。慶長14年(1609年)に下津井城を預かった池田由之を初代に数えると、昭和元年の年末に没した政佑まで12代となる。代々岡山に居住し、分家格で厚遇され、本藩の施政を助けた。明治以降は男爵に列した。

お茶屋跡(天城陣屋跡)

幕府を憚りお茶屋と称したが、実質は陣屋であり、支藩の格式を持っていた。初代由之が見島郡で3万2千石と下津井城を預かるが、寛永16年(1639年)下津井城破却後、天城で政庁を開き、家臣を居住させた。その意味で天城は城下町でもあった。

⑧ 遍照院

真言宗御室派。恵日山後嶽寺遍照院といい、薬師如来を本尊とする。鳥羽天皇の永久年間の創建と伝えられるが、誰の開祖かは詳でない。

⑨ 海禅寺

臨済宗で、西光山海禅寺といい、釈迦如来を本尊とする。池田由成が建立し、菩提寺とした。本堂の天井・欄間などは下津井城の廃材を使っている。

⑩ 笹無山

佐々木盛綱に切られた浦の男の母が息子の無惨な最後を知り、『佐々木と言えば笹まで憎い』と付近の小丘の笹を抜いてしまった。その後この丘には笹が生えないから笹無山と名が付けられたと言われる。

⑪ 正福寺

日蓮宗で、恵光山正福寺といい、釈迦如来を本尊とする。山門は下津井城の門の一つを元禄7年に移して建てたものである。

⑫ 静光寺

真宗大谷派に属し、阿弥陀如来を本尊とする。山門は、天城家中屋敷入口の総門を縮小して移築した。また、寺内には大石良雄(内蔵助)の祖母の墓所がある。

⑬ 正覚寺

浄土宗に属し、阿弥陀仏を本尊とする。貞享5年(1688年)覚譽(かくよ)を開祖として池田由孝が建立した。

⑭ 天城キリスト教会

明治23年建築。県下で高梁キリスト教会に続く2番目に古い教会である。県指定の重要文化財。

⑮ 経ヶ島

盛綱橋の東、天城小学校の校庭に続いて小さい丘がある。もとは藤戸寺が管理していた海中の島。頂上に古びた宝篋印塔(経塚)と六角形の石塔婆(漁塚)がある。佐々木盛綱に浅瀬を教えた「浦の男」の供養に建てられたという。

天城おすすめ散策コース

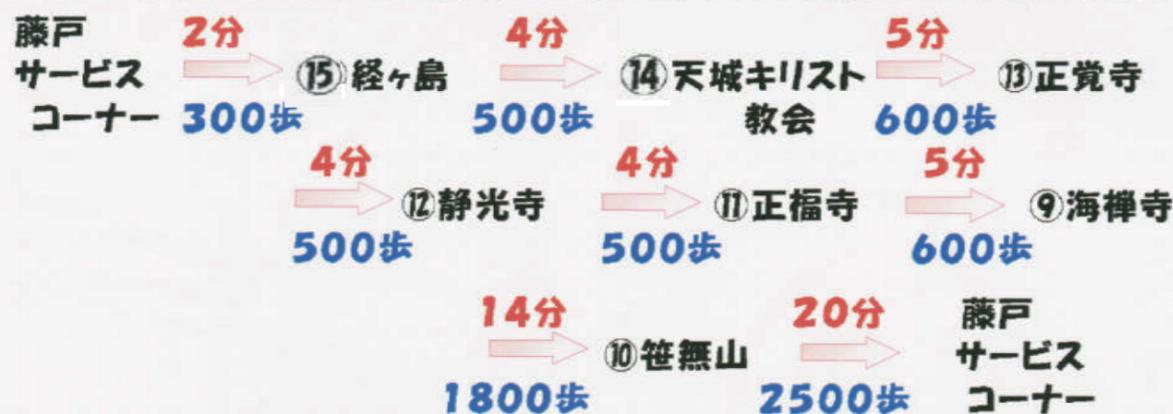
その1(藤戸史跡と下津井電鉄跡地のめぐり) (約3.1km)



その2(天城池田家と平家物語ゆかりの地のめぐり) (約1.6km)



その3(平家物語ゆかりの地と天城お寺のめぐり) (約2.0km)



資料提供 藤戸史跡保存会
天城小学校
玉田写真館